

平成30年12月21日

川西市議会議長

大矢根 秀 明 様

厚生文教常任委員長

平 岡 讓

### 委 員 会 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

厚生文教常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：平成30年12月10日）

1. 議案第58号（仮称）市立川西こども園整備工事請負契約の締結について

議案の概要

本案は、（仮称）市立川西こども園整備工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決を求めようとするもので、工事の概要につきましては、栄根1丁目地内の現在の川西保育所の敷地において、（仮称）市立川西こども園を整備するもの。

質疑の概要

問 今回の整備場所は、現在の川西保育所敷地と川西小学校用地となっているが、周辺道路が狭隘であり、施工中における工事車両の通行はもとより、開園後における保護者の送迎等を踏まえた安全対策が重要と考える。これらの点に関する市の対応策を伺いたい。

答 施工中においては、川西小学校の校庭東側に、工事車両の専用通路と児童の通行用に専用階段を新設したうえで、正門と南門は閉鎖する予定である。このため、児童の通学等は、現行の北側校門と東側の新設階段となり、それぞれに警備員を常駐するとともに、登下校時には警備員の配置を工夫しながら安全対策に万全を期すこととしている。また、開園後における送迎等については、現保育所と同じスペースで対応することを想定しており、現状でも送迎車両の減速運転など啓発に努めており、引き続き安全の確保に向けた取り組みを継続していきたい。

問 同園2階の保育室6室については、3歳児から5歳児までの保育に使用されるということであるが、将来的な児童数の減少に伴って空き室が生じた場合には、子育て支援室や一時保育などに活用していく方針を示されている。これらの対応を開園当初から弾力的に運用する考えはないか伺いたい。

答 2階保育室については、3歳児から5歳児までの保育を各2クラスとして6室を整備するものである。開園時において、各年齢の園児数が1クラスの上限を超過した場合には、保育室として使用することが優先となるが、受け入れ園児数の状況に応じて、1クラスでの対応が可能となる場合には、子育て支援室や一時保育室等として弾力的な運用を図っていきたいと考えている。

問 議案質疑資料では、平成30年度における川西幼稚園の園児数が21人となっているが、新施設の定員は1号認定児童（幼稚園機能利用児童）が70人となっている。加えて川西保育所の園児数を見ても2号・3号認定児童（保育所機能利用児童）にか

かるニーズが高い現状にあることから、新たな施設の開園に向けて、それぞれの定員を見直す考えはないのか伺いたい。

答 新たなこども園では、3歳児保育の開始や給食の提供などにより、1号認定児童のニーズが上昇するものと見込んでいる。したがって、先に募集開始となる1号認定児童の受け入れ児童数を見ながら、2号認定児童等への定員へ割り振りを行うなど、弾力的な措置を講じる中で、保育ニーズに応じた運用を進めていきたいと考えている。

問 工事期間中の保育については、川西小学校のグラウンド内に仮設園舎を建設し対応するとのことであるが、これによる学校行事への影響とあわせて、工事に伴う騒音対策をはじめ、教育・保育環境の確保や近隣住民への説明など、円滑な施設整備に向けた市の取り組み状況と今後の対応方針について伺いたい。

答 運動会等の学校行事や納涼祭などの地域行事については、仮設園舎がある中で使用可能なスペースを活用して実施いただくよう調整しており、基本設計が整った段階で保護者や地域住民への説明会を開催している。また、騒音対策等については、防音壁の設置などにより、児童及び近隣住民に十分配慮しながら施工することとしており、来年の1月中に地域での説明会を経て工事に着手する予定であるが、保護者への詳細な説明に関しては、その方法を含めて関係者と協議のうえ対応していきたい。

#### 特記事項

配布資料あり（1．入札結果について ほか）

議案質疑資料あり（1．当該施設の利用児童数の定員予定について ほか）

審査結果 原案可決（全員賛成）

## 2．議案第63号 川西市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### 議案の概要

本案は、福祉医療費助成制度の所得判定において、未婚のひとり親についても、寡婦控除等が適用されたものとみなして所得判定を行うこととするため、条例の一部を改正しようとするもの。

#### 質疑の概要

問 今回の改正は、未婚のひとり親が養子縁組を結んだ場合にも対象となるのか。

答 本改正では、未婚のひとり親であることに加え、扶養親族または生計同一の子がいることが条件となっていることから、養子縁組を結んだ者がこれに該当する場合は、寡婦控除を適用して市民税所得割額を算定することになる。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

### 3．議案第64号 川西市立幼保連携型認定こども園保育料等条例の一部を改正する条例の制定について

#### 議案の概要

本案は、川西市立牧の台みどりこども園において、平成31年6月から地域こども預かり保育を開始するに当たり、保育料等必要な事項を定めるため、条例の一部を改正しようとするもの。

#### 質疑の概要

問 今回の条例改正は、市立牧の台みどりこども園での事業開始にかかるものであるが、将来的には、市内の他の認定こども園でもこの条例に準じた取り扱いで進める考えか。

答 この条例改正により、保育料及び満1歳からを対象として事業を開始することとしており、他のこども園においても同様の規定を整備していく考えである。

問 今回の地域こども預かり保育について、受入れ対象として想定している具体的なケースのほか、申し込み手続きや事業実施にかかる人員配置などの詳細な内容について伺いたい。

答 まず、受け入れの対象としては、保護者の通院や買い物などのほか、育児疲れの休息を含め、一時的に家庭での保育が困難となった場合を想定している。また、申し込みは、保護者及び子どもと面接を実施したうえで事前登録をいただき、利用日の2週間前までに申し込みを受け付ける予定である。なお、預かり保育の実施時間は午前9時から午後5時までとしており、人員体制については、新たに保育教諭を2名配置して対応する計画である。

問 保育料については、利用時間が4時間までが1600円、4時間を超え8時間まで3200円の2区分で設定されているが、利用者の負担を考慮して細分化する考えはなかったのか伺いたい。

答 利用料金の設定については、民間施設の運用実態を参考にしながら、半日又は1日単位といった分かりやすい設定としているが、今後、事業を運用していく中で利用者の意見などを踏まえながら検討していきたい。

問 今回、新たな取り組みが開始されようとしているが、利用者ニーズが把握しきれない面はあるものの、受け入れ時間の設定をはじめ、人員配置にかかる費用対効果、さ

らには利用しやすい仕組みといった点で疑問に感じる面が多い。このことを踏まえ、市として今回の事業をどのようにシミュレーションして組み立てたのか伺いたい。

答 今回と同様の事業は、市内の民間保育所14カ所で開催されており、これらの開設時間など実態を踏まえて、預かり時間等を設定したものである。ただし、保育教諭の雇用や開設時間のほか、申し込み手続き等に関しては、一定、改善の余地もあると認識しており、具体的な制度運用が始まるまでに保育料の納め方など運用要綱で規定する事項を検討するとともに、開設後においても効果的かつ効率的な運用に努めながら、利用者にとって使いやすい施設となるよう、見直しを含めて取り組みを進めていきたいと考えている。

#### 特記事項

議案質疑資料あり（1．保育料決定の根拠になる市内保育所などのデータについてほか）

審査結果 原案可決（全員賛成）

#### 4．議案第66号 平成30年度川西市一般会計補正予算（第5回）

##### 議案の概要

第1表 歳出第3款民生費のうち第1項社会福祉費第2目人権推進費及び第3目総合センター費を除く全部。第4款衛生費のうち第1項保健衛生費第7目病院費、第2項環境衛生費及び第3項清掃費を除く全部。第10款教育費。

##### 質疑の概要

###### 第1表 歳出

###### 第3款 民生費

問 災害救助費において、豪雨被害等にかかる被災者支援として370万円が追加されているが、支援内容の詳細について伺いたい。

答 本補正については、平成30年7月豪雨や台風20号及び21号により被害を受けた世帯に対する住宅の建設・補修等を目的として、罹災証明を受けた世帯に補助を行うものである。補助額については、半壊が25万円、一部損壊が15万円となっており、一部損壊は、損害の程度が10%以上20%未満としており、10月19日時点で半壊が2世帯、一部損壊が13世帯という状況である。

###### 第4款 衛生費

問 保健衛生総務費人件費において1341万4000円が追加されているが、職員手当等の内訳とあわせて、この増額要因を伺いたい。

答 職員手当等のうち扶養手当、通勤手当、住居手当及び児童手当は、それぞれ数

<p>十万円程度の減額となっているが、期末勤勉手当が420万4000円増額となったことが主な要因である。これは、当初予算時点で若い職員の配置を前提に予算計上していたが、人事異動に伴い、年齢層の高い職員が配属となったことによるものである。また、給料が805万6000円の追加となっているのは、年度途中において不足する手当等に予算流用していた関係から、今回の補正では、職員手当等と比較して増額幅が大きくなっているものである。</p> <p>第10款 教育費</p> <p>問 多田神社に対して大阪府北部地震や台風の災害復旧に係る補助金として215万8000円を追加しているが、金額の根拠について伺いたい。</p> <p>答 当該補助については多田神社が国指定史跡であることから、国が7割のほか、県、市、事業者がそれぞれ1割ずつ負担するもので、主に同神社の塀の補修を行うための費用である。</p>
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

5．議案第67号 平成30年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）

<p>議案の概要</p> <p>人事異動等に伴う人件費予算の補正がその内容でありまして、歳入歳出予算からそれぞれ2788万1000円を減額し、予算額を164億2989万3000円にしようとするほか、債務負担行為の補正では、本年度中に入札を行う必要がある31年度の診療報酬明細書等点検業務につきまして債務負担行為を設定しようとするもの。</p>
<p>質疑の概要</p> <p>問 診療報酬明細書等点検業務によりレセプト点検を実施されているが、診療報酬の不正請求は年間で何件程度確認されているのか。</p> <p>答 平成29年度における診療報酬の不正請求はレセプトの総件数約59万5000件のうち512件確認しており、金額ベースでは保険者負担総額に対して0.49%を占める結果となっている。</p>
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

6 . 議案第 6 8 号 平成 3 0 年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 回）

議案の概要
人事異動等に伴う人件費予算の補正がその内容でありまして、歳入歳出予算からそれぞれ 8 9 3 万 3 0 0 0 円を減額し、予算額を 3 0 億 9 4 5 5 万 6 0 0 0 円にしようとするもの。
質疑の概要 なし
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

7 . 議案第 7 0 号 平成 3 0 年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 回）

議案の概要
人事異動等に伴う人件費予算の補正、および介護予防・生活支援サービスにかかる費用の追加がその内容でありまして、歳入歳出予算にそれぞれ 1 8 0 1 万 8 0 0 0 円を追加し、予算額を 1 2 6 億 1 5 5 6 万 2 0 0 0 円にしようとするもの。
質疑の概要
問 今年度から開始した見野にあるコンビニエンスストアを活用した地域包括活動拠点についての事業実績と総括について伺いたい。
答 当該拠点については平成 3 0 年 4 月から東谷地域包括支援センターの出張所として、介護予防等を含めた介護の相談窓口を設置したものである。開始から半年程度しか経過していないため、認知度が低い現状であり、相談件数はそれほど上がっていないと認識している。
答 アウトリーチ事業である当該拠点については、コンビニエンスストアの駐車場を利用できるなど立地条件に優れていることに加え、施設内の休憩スペースを活用して高齢者の交流・居場所づくりにも寄与するものと考えていることから、今後、認知度を上げて利用が広まるよう取り組んでいきたい。
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

8 . 請願第 9 号 75 歳以上の後期高齢者の窓口負担原則 1 割の継続を求める意見書採択  
についての請願書

請願の趣旨

高齢夫婦無職世帯では、生活費などが毎月不足し、貯金を取り崩して生活せざるを得ない状況のほか、「貯金なし」の高齢者世帯は 15 . 1 % にのぼるというのが、高齢者の実情である。しかしながら、高齢者の多くは糖尿病や高血圧などの慢性疾患を抱えており、健康を維持するためには継続的な通院が不可欠であり、医療機関で支払う窓口負担は高齢者の生活にとって重い負担となっている。

よって、窓口負担の引き上げにより、高齢者が必要な医療を受けられず、疾病を悪化させることがないように、75 歳以上の後期高齢者の窓口負担原則 1 割の継続を求める意見書を国に提出するよう求める。

特記事項 請願者の発言申出による趣旨説明あり

審査結果 継続審査（賛成多数）